

# ごあいさつ

現役監督 吉田亮太(H14卒)



OB・OGの皆様、保護者の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととおよろび申し上げます。平素から東高ラグビー部の活動に対し、物心両面にわたってのご支援を賜りまして誠にありがとうございます。この度、部発足80周年を迎え、記念行事を開催する運びとなりました。開催にあたり、多くの皆様にご支援・ご協力をいただきましたことに対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、私が母校へ赴任し、ラグビー部監督の大役を授かってから、はや1年がたちました。この1年は、仲本主将(U-17四国ブロック代表)を中心とし、15人制にこだわって練習に取り組んでまいりました。部員不足に悩まされる中、選手たちはよく知恵を出し合い、努力を重ねたと思います。この1年の戦績を申し上げますと、花園予選には3年生3名に力を借り、なんとか出場ができませんでした。1回戦で西条高校に大敗いたしました。新人戦では初戦で東予高校と対戦し、12-34で敗戦いたしました。合同チームが増える中、なんとか人数を揃え出場しましたが、勝利への壁は大きいものでした。セブンズでは、1回戦で万代先生(H16卒)率いる八幡浜高校と対戦し、FWのサイド攻撃に苦しみながらも、なんとか12-0で勝利することができました。2回戦では、門田先生(S59卒)率いる松山商業高校と対戦し、前半をリードして折り返すも、後半は運動量で圧倒され、12-29で逆転負けを喫しました。四国大会予選では、1回戦でまたも万代先生率いる南予合同(八幡浜・野村・吉田)と対戦し、選手たちは練習を重ねたラインアウトモールを起点としてトライをあげ、サイドディフェンスでもよく耐えましたが、後半持ちこたえることができず、12-33で敗戦いたしました。15人制にこだわりを見せてくれた仲本組に対し、15人制の勝利を味わわせることができなかつたことは、私の力不足でありました。

年度が変わり、3年生にとって最後の大会となる県総体(10人制)では、予選リーグ1試合目で新居先生(H4卒)率いる北条高校と対戦し、3-14で敗戦いたしました。ただ、3年生を中心に選手たちは気迫のあるプレーを見せ、シード校を相手にひるむことなく、存分に力を発揮してくれたと思います。続く2試合目では新人戦で敗れた東予高校と対戦し、26-7で勝利いたしました。自分たちのペナルティからあっさり先制を許す最悪の展開で、重い空気を引きずってしまうかと思われましたが、そこから3年生が中心となってチームを鼓舞し、逆転勝利することができました。仲本組の成長を最も感じたゲームでありました。1勝1敗で迎えた3試合目は、万代先生率いる八幡浜高校と3度目の対戦となりました。四国大会予選のリベンジと位置付け、選手たちはディフェンスをよく頑張り、33-0で勝利することができました。2勝1敗で予選リーグを2位通過し、決勝トーナメント1回戦では、平岡先生(S55卒)率いる松山工業高校と対戦し、0-22で敗戦いたしました。この試合で、仲本組の1年は終わりました。選手たちの成長を目の当たりにし、東高ラグビー部の指導に携われる喜びを改めて感じさせられた1年となりました。生徒たちに感謝をしています。

総体が終わり、2年生の佐伯が主将となり、佐伯組の1年が始まりました。新チームも3年生の思いを受け継ぎ、15人制県大会での勝利を目指して練習に励んでいます。部員は2年生が10名、1年生が15名、女子マネージャーが3名という状況です。ぎりぎりの人数であった昨年と比べると、練習にも活気が出てきています。これも3年生を中心に部員勧誘を頑張ってくれた結果です。これからも、「東高ラグビー部に入りたい」と思ってもらえるような魅力ある集団を目指し、生徒たちとともに努力していきたいと思ひます。

この度の80周年記念行事では、各方面にご尽力いただき、現役による記念試合も設定していただきました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。先輩方の思いを受け継ぎ、保護者の方々の声援も背に、熱いプレーをお見せできればと思っておりますので、ぜひご観戦ください。また、先輩方・保護者の方々のラグビーを愛する姿、仲間を愛する姿は、生徒たちにとっても大いに刺激になると思ひます。記念行事にぜひ参加いただき、元気なお姿、熱いプレーを見せていただけますよう重ねてよろしくお願いいたします。東高ラグビー部一同、当日を心待ちにしております。

最後になりましたが、これからも松山東高ラグビー部ファミリーの輪を広げ、松中・東高ラグビー部80年の輝かしい歴史に恥じない活動を行ってまいります。また、80年間受け継がれてきた二宮晋二先生の教えを守り、東高ラグビー部を「人間修養の道場」としていけるよう、顧問の仲尾先生・小野先生、生徒たちとともに微力ながら尽力して参りたいと考えております。今後とも、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2011年(平成23年)7月